

魅力ある観光と交流の創出

【観光交流課，産業政策課】

1 事業の目的

市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、「観光セールスの強化」，「おもてなし情報の発信」など本市の観光資源や農資源をPRすることで来市への機会を創出するとともに，癒し・やすらぎを求める都市住民のニーズに応える農業・農村ふれあい交流事業を展開し，交流人口の増加を図ること。

2 事業の概要

(1)「おもてなし運動」の推進

【観光交流課】

官民協同でおもてなし運動を促すことにより，観光都市としてのおもてなし環境を整える。

①事業スケジュール（平成22年度） ※事業主体：おもてなし推進委員会

通年	おもてなしモニター調査の実施（4～5事業所）
〃	おもてなし出前講座の実施
8月	宮のもの知り達人検定試験の実施
9月～11月	観光ボランティアガイド養成講座の実施
3月	おもてなし顕彰制度の実施

(2) 観光セールスの強化

【観光交流課】

首都圏在住者の本市への来訪の契機とするため，首都圏におけるキャンペーン，イベント等への参画及びマスメディアの活用により，観光資源・名産物等の本市の魅力を伝える「観光セールスの強化」を図る。

①事業スケジュール（平成22年度）

通年	首都圏各地でのキャンペーン，イベント等への出展
7月	旅行雑誌の行楽特集号へのPR広告掲載

(3) 観光事業の推進

【観光交流課】

観光客に多様な交流機会を提供するため，まちかど観光体験館の整備支援により，地場産品，伝統工芸等を活用した体験型・参加型観光を促進する。

①事業スケジュール（平成22年度）

通年	宇都宮まちかど観光体験館PR用パンフレットの配布（通年）
----	------------------------------

(4)「おもてなし情報」の発信

【産業政策課】

観光などの地域資源に関する情報や、来訪者の属性に合わせた最適な情報発信を行うことにより、市民や観光客の利便性向上の実現を図る。

①事業スケジュール（平成22年度）

- 4月 システム開発，地域協議会の開催
- 5月 モニター運用の実施
- 6月 モニター運用の評価
- 7月～ コンテンツの追加，編集

(5) 農業・農村ふれあい交流事業（第2のふるさと里家事業）

【観光交流課】

地域団体や農家等が主体的に実施する，農資源を活用した交流事業を支援することにより，「農」への理解促進と農村地域の活性化を図る。

①農業・農村ふれあい交流事業補助金

農業者や地域が主体となった交流事業を実施するための経費を補助する。

- ・ 1事業実施団体あたり，10万円を限度とする。

平成22年度 補助金交付団体数 9団体

ア 事業スケジュール（平成22年度）

4月～通年 農業・農村ふれあい交流事業補助金交付

②ふるさと里家事業

第2の故郷として農家が都市住民の「里家」となり，日々営んでいる農家生活や農作業など，ありのままの「農のある暮らし」を体験してもらう機会を創出する。

- ・ 里家事業の事例調査
- ・ モデル里家開設に向けた検討会
- ・ モデル里家モニターツアー実施
- ・ 里家開設の支援

ア 事業スケジュール（平成22年度）

通年 都市住民のニーズ調査（首都圏キャンペーンや各種イベント等で実施）
先進事例の調査・研究
5月～農家の交流に対する意向調査
モデル里家開設に向けた検討会の実施